

特別支援教育 研修講座

6月23日(木)・24日(金)

受講者数 36名

(講師含む)



加藤 潔氏
(札幌市自閉症・発達障害支援センターおがる所長)



大橋 恵 先生
(黒松内町立黒松内中学校)



桂野 文良 先生
(京極町立京極小学校)



竹内 照雄 先生
(倶知安町立倶知安小学校)



受講者の方々の声

- 加藤講師の講義内容がとても良かった。ズバッと核心に迫られ、自分を振り返ることもでき、いつもと違った見方が勉強になった。ことばの教室、校内支援、参考となる部分がたくさんあり、また頑張っていく元気をもらった。
- 加藤講師の講演から「アンバランスなまま成長させる、強いところを活躍させる」という言葉を聞いて、納得、そして今まで以上に、また楽しみながら頑張ろうと思った。
- 課題解決というよりは、こういう方向で進めていけばよいと再確認できた。特に竹内先生の言語の考え、加藤講師のお話が良い刺激になった。
- 特別支援＝楽できるということを教わってきており、そういう考え方はすごく恐ろしいので、もっと特支担当になったことに若い先生が誇りややる気を持てるようにパワフルな方に「特支だからできること」をどんどん教えて欲しいと思う。
- 中体連の会議で学校が手薄、1～2週ずれていたらもっと参加しやすい。
- 1日目の講義後にもブロック外の先生方との課題交流をしたら、いろいろな意見が聞けたのではないかな。
- 情緒だけでなく、車いすの生徒への配慮や講習会を開いて欲しい。